スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

愛知県 名古屋市

自 治 体 名 ： 愛知県名古屋市
担 当 課 名 ： 教育委員会事務局　生涯学習部　部活動振興課
電 話 番 号 ： 052-291-4675

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

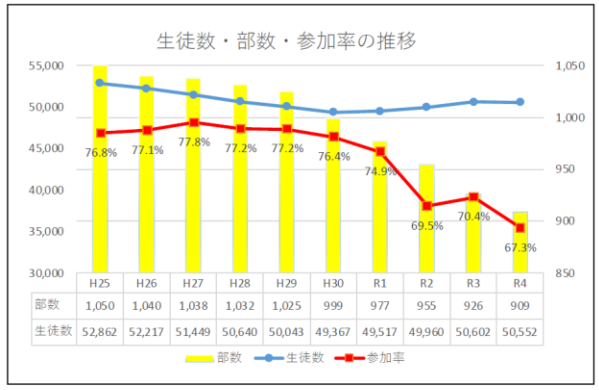
面積	326.45 ㎢
人口	2,331,413 人
公立中学校数	116 校
公立中学校生徒数	50,255 人
部活動数	778 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

本市の公立中学校生徒数は、2012年には52,862人でしたが、2022年には50,552人と約4.4%減少しております。また、中学校部活動ですが、2012年は部活動数1,050部、生徒の部活動参加率77.1%でしたが、2022年は部活動数909部、部活動参加率67.3%と、部活動数は13.4%減少、参加率は約10%減少と、本市においても部活動数や部活動参加率減少の一因として、少子化の影響が見られます。そのため、国のガイドラインを踏まえ、今後も子どもに豊かなスポーツ・文化芸術活動を継続して提供していくために、本市においても部活動改革に着手しました。

具体的に、令和５年度は、本市の今後の部活動の在り方を検討するため、生徒・保護者へのアンケート調査や合計５回に及ぶ有識者懇談会などを開催し、本市の活動方針を策定しました。方針としては、「令和7年10月から、土・日曜日の部活動を見直し、活動は大会参加等のみとする。これに併せ、中学校施設を開放し、地域の多様な団体・事業者等による地域クラブ活動を実施する。」というものでした。

令和6年度は、活動団体の掘り起こしや、モデル事業を実施し、令和7年度の本格実施に向けて環境整備を行っております。



出典：第１回名古屋市立中学校における部活動のあり方懇談会

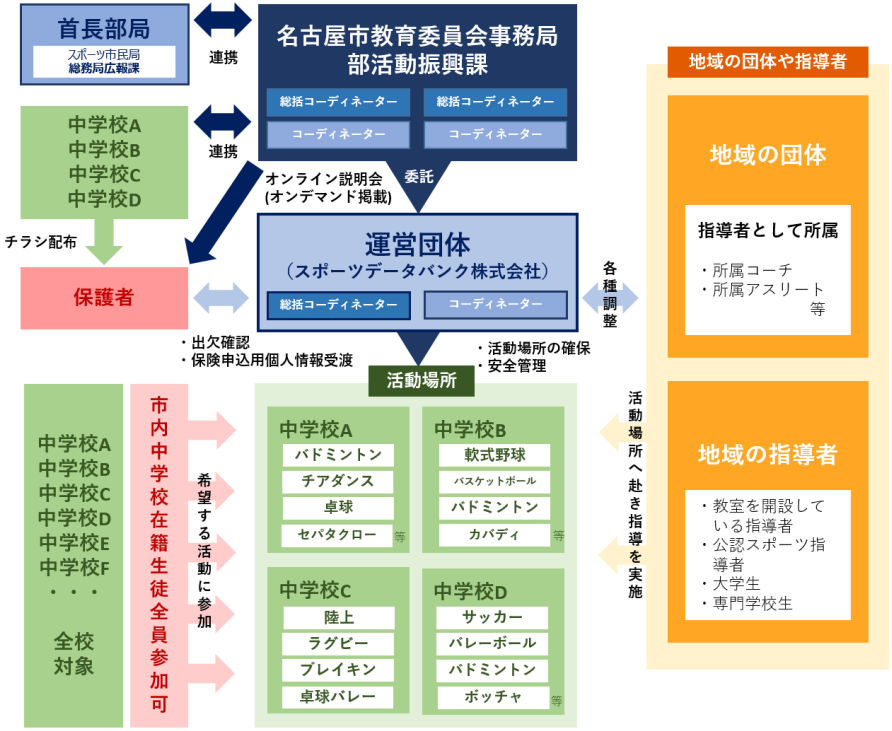
【課題】
令和7年10月から地域の団体・事業者等が学校施設を利用して地域クラブ活動を実施するに当たり、学校施設開放の運営手法等について、検討が必要である。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会

・部活動振興課…部活動改革の主幹、学校及び庁内の調整・連携、環境整備

◉首長部局

・スポーツ市民局スポーツ振興課、スポーツ施設課、スポーツ戦略課
…地域クラブ活動実施種目の相談・紹介、本格実施に向けて相談・調整

・総務局市長室広報課…市公式ウェブサイト等への掲載

年間の事業スケジュール

令和６年5月	第1回協議会の開催
令和６年７月	運営団体の決定 民間事業者との契約 種目選定開始
令和６年８月	指導者確保 各学校との利用調整 広報資料準備 指導者研修開始（eラーニングまたは対面）
令和６年９月	参加者募集チラシ配布（市内全中学校（市・国・私立）） 特設ウェブサイト開設 保護者説明会実施 参加受付開始
令和６年10月	指導者研修完了 地域クラブ活動開始
令和６年11月	第2回協議会の開催
令和７年２月	アンケート調査の実施 地域クラブ活動の終了
令和７年３月	事業完了・報告

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	116 校	実施した地域クラブ総数	16クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		-
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		16 クラブ
全体の指導者数	73 人	全体の運営スタッフ数	10 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
スポーツ&文化芸術体験	民間事業者	バドミントン、チアダンス、卓球、セパタクロー、カバディ	全8回 ※1日複数種目開催	午前または午後 3時間程度	中学 1年生 37人 2年生 20人 3年生 1人	11/24 ～ 2/23	富士中学校	73人	10人 （うち兼務10人）	無償	大会参加なし
		陸上、ラグビー、ブレイキン	全9回 ※1日複数種目開催		中学 1年生 43人 2年生 22人 3年生 3人	10/27 ～ 2/23	左京山中学校				
		軟式野球、バスケットボール、バドミントン、卓球、カバディ	全12回 ※1日複数種目開催		中学 1年生 45人 2年生 32人 3年生 7人	10/19 ～ 2/15	宮中学校				
		サッカー、バレーボール、バドミントン	全12回 ※1日複数種目開催		中学 1年生 56人 2年生 27人 3年生 3人	10/26 ～ 2/15	上社中学校				

2.実証内容と成果

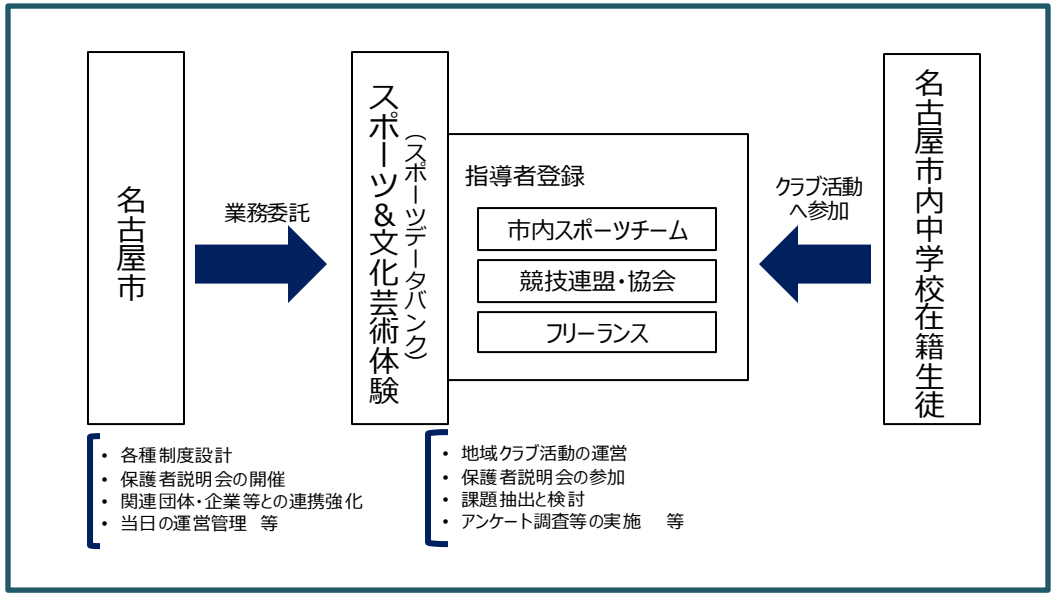
スポーツ庁

主な取組例

●スポーツ＆文化芸術体験　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	軟式野球、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、サッカー、ラグビー、陸上競技、ブレイキン、チアダンス、卓球、セパタクロー、カバディ、卓球バレー ＋その他文化芸術活動
運営団体名	スポーツデータバンク株式会社
期間と日数	R6年10月19日～R7年2月23日 各会場8～12回
指導者の主な属性	県内・市内等の各種スポーツ団体 （競技連盟・協会・民間含む）
活動場所	市立中学校4校の施設
主な移動手段	徒歩、自転車、公共交通機関
１人あたりの参加会費等（年額）	無償
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年 （指導者区分による金額変動）

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者

役割：教育委員会・対象校との実施調整や指導者確保、研修、緊急時対応などを行う

●主任指導者　12 名

役割：指導者の調整、開催案内、学校施設利用チェック、指導等を行う

●運営補助者　61 名

役割：学校施設利用チェック、当日の参加受付、指導等を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○市立中学校4校の施設管理者の選定

○各会場校との協議による実施種目の設定及び会場利用調整

○ICTを活用した地域クラブ運営の実施

取組の成果

○運営団体の担当者が会場校4校へ訪問し、実施種目の選定を行った。

選定の際は、①部活動で行われている運動競技種目、②運営団体にてネットワークのある種目、③会場校が希望する種目、④2026年に本市で開催予定であるアジア競技大会の種目、⑤ユニバーサルスポーツの種目を基に協議をした。様々な視点を入れることで、生徒が参加したくなる種目をバランス良く設定することができた。

○運営団体が提案した無料アプリケーション（以下、「アプリ」という。）を活用した。アプリで、①事前案内、②当日の出欠席確認等を行い、効率化を図ることができた。

一方、アプリへの不参加や登録不備等もあり、運営における課題も残った。



コーディネーターの具体的な動きの実績

○各会場校との調整（種目の決定、会場利用における調整等）
○指導者の選定及び研修
○当日の地域クラブ運営対応（緊急時対応、活動管理　等）
○保護者説明会の実施及び質問回答

今後の課題と対応方針

●令和7年10月から実施する地域クラブ活動では、各民間事業者等が運営も含めて行うことを想定している。各活動内容に沿った運営ができる一方、保護者が安心して子どもを参加させることができるよう、運営体制を整備する必要がある。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

○県内・市内及び近隣県内のスポーツ関係団体や文化連盟・協会等との連携による専門指導者の確保

○運営団体による研修の実施

登録者属性

- 各種競技協会
- 県内・市内プロスポーツチーム
- 民間事業者（スクール・アカデミー等）
- フリーランス（トレーナー）　等

取組の成果

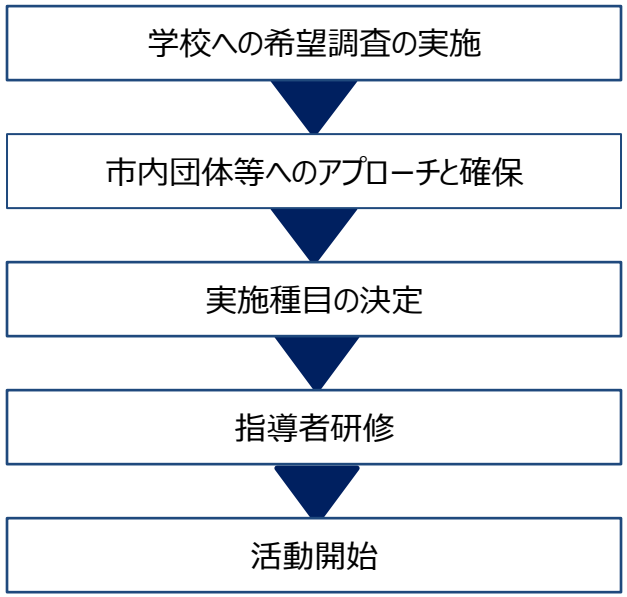
●各学校と協議を行った結果を踏まえ、運営団体が保有するネットワークを活用し、指導者の確保を行った。その結果、プロスポーツチームをはじめ、各種競技協会、民間事業者からの協力を得ることができた。

●ユニバーサルスポーツやアジア競技大会の種目（セパタクローやカバディなど）においては指導者団体が少なく、確保に時間を要した。

また、先に活動日時が確定していたことから、指導者との調整が難しく、連携できない団体もあった。活動日時の決定においては、指導者団体等も調整しやすいよう配慮する必要がある。

●本事業の指導者全員へ、運営団体（スポーツデータバンク株式会社）の保有するeラーニング研修の受講を義務付けた。内容等については、次頁に記載する通りである。

＊種目決定と指導者確保の流れ



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

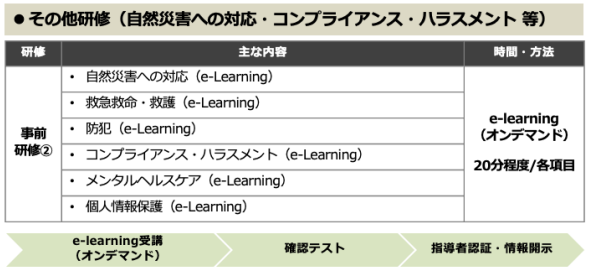
【事前研修】
・対象：指導者全員
・目的：事業背景、業務内容（アプリ活用、クラブ運営、留意点等）
・方法：対面またはオンラインでの実施

【eラーニング研修】
・対象：指導者全員
・目的：地域クラブ活動におけるコンプライアンスやハラスメント防止等への理解促進
・方法：eラーニングによる実施
（スポーツデータバンク株式会社・三井住友海上火災保険研修サービス）

指導者研修の参加実績

・開催日　：　8月～指導開始前
※eラーニングのため、各自で受講
※受講状況は、運営団体が管理
・開催回数：　各人1回以上
・参加人数：　73人（eラーニング）
※指導者（指導に従事するスタッフ）全員

受講者の声



出典:運営団体研修資料

「ジュニア期世代を指導するうえでは適当な研修であったと思料します。」
「指導にあたる注意事項を再認識できる良い機会だった。」
「最後に確認問題があるのがよかった。」
「 eラーニングに長く時間がかかった。 1時間以内で終了できるとよい。」

今後の課題と対応方針

●本研修は、競技研修ではなく、コンプライアンスやハラスメント、個人情報の保護などの研修内容であり、受講いただいた方からはおおむね高評価をいただいた。一方で、「長い」や「より現場に即したものが良い」等の意見もあった。

中学生を指導する上で、一定以上の知識の習得が必要であるため、研修実施は必須であるが、指導者及び活動に合った内容や頻度にする等、検討を行う必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

○学校と連携して進めていくため、理事会及び中学校校長会において、本市の取組及び今後の見通し等を説明した。

○本市他局が主管となり、中学校施設を一般市民へ開放している事業があるため、協議会等において本事業の取組を説明するとともに、実施内容等について相談した。

取組の成果

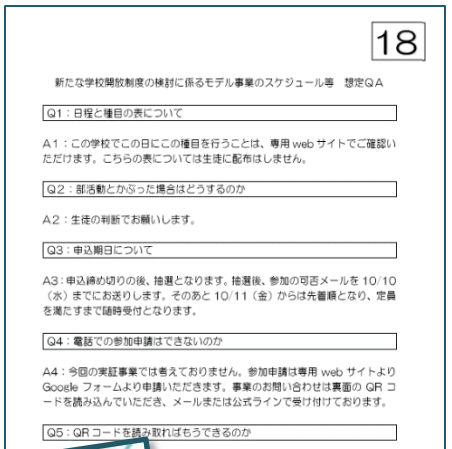
○理事会及び中学校校長会において、本事業の取組及び今後の見通し等を説明することで、教職員における実施内容の理解が深まった。

○自校の中学校で行われている地域クラブ活動だけでなく、学区を越えて、自らが興味のある活動に積極的に参加をする生徒が多数見受けられた。

○他局が中学校施設内に所持している備品等を借用することができた。

今後の課題と対応方針

○中学校施設を多数使用することから、常時地域クラブ活動の進捗状況を共有する等、学校及び他局との連携をより一層密にして本事業を進める。


18

新たな学校開放制度の検討に係るモデル事業のスケジュール等　想定ＱＡ

Q1：日程と種目の表について

A1：この学校でこの日にこの種目を行うことは、専用 web サイトでご確認いただけます。こちらの表については生徒に配布はしません。

Q2：部活動とかぶった場合はどうするのか

A2：生徒の判断でお願いします。

Q3：申込期日について

A3：申込締め切りの後、抽選となります。抽選後、参加の可否メールを 10/10（水）までにお送りします。そのあと 10/11（金）からは先着順となり、定員を満たすまで随時受付となります。

Q4：電話での参加申請はできないのか

A4：今回の実証事業では考えておりません。参加申請は専用 web サイトより Google フォームより申請いただきます。事業のお問い合わせは裏面の QR コードを読み込んでいただき、メールまたは公式ラインで受け付けております。

Q5：QR コードを読み取ればもうできるのか

←QA

スケジュール
↓


18

富士中学校スケジュール

実施回数	実施日程	実施場所 体育館（半面）	体育館（半面）	武道場	音楽室
第1回	11/24 （金） AM・PM	カバディ	セパタクロー	キアヴンス	ー
第2回	12/1 （金） AM・PM	バドミントン	カバディ	卓球	ー
第3回	12/8 （金） AM・PM	ー	キアヴンス	卓球	合唱
第4回	12/22 （金） AM・PM	バドミントン	キアヴンス	卓球	ー
第5回	1/12 （金） AM・PM	ー	キアヴンス	卓球	合唱
第6回	1/26 （金） AM・PM	ー	セパタクロー	卓球	合唱
第7回	2/2 （金） AM・PM	バドミントン	ボッチャ	卓球	合唱
第8回	2/23 （金） AM・PM	ボッチャ	キアヴンス	卓球	ー

学校スケジュール

	実施日程	実施場所 運動場	体育館（半面）	体育館（半面）	格技場	視聴覚室
	10/19 （土） AM・PM	軟式野球	バスケットボール	バドミントン	ー	プログラミング
	10/26 （土） AM・PM	軟式野球	バスケットボール	バドミントン	ー	ー
	11/2 （土） AM・PM	軟式野球	バスケットボール	バドミントン	卓球	プログラミング
	11/23 （土） AM・PM	軟式野球	バスケットボール	バドミントン	ー	絵画発表
	11/30 （土） AM・PM	軟式野球	バスケットボール	バドミントン	卓球	ー
	12/7 （土） AM・PM	軟式野球	バスケットボール	バドミントン	卓球	ー
	12/14 （土） AM・PM	軟式野球	バスケットボール	ー	卓球	絵画発表
	12/21 （土） AM・PM	軟式野球	ー	卓球バレー	卓球	プログラミング
	1/18 （土） AM・PM	軟式野球	ー	カバディ	卓球	プログラミング
	1/25 （土） AM・PM	軟式野球	バスケットボール	ー	卓球	ー
	2/1 （土） AM・PM	軟式野球	ー	卓球バレー	卓球	ー
	2/8 （土） AM・PM	軟式野球	ー	カバディ	卓球	プログラミング

※白文字は、単発の種目です。



チラシ→

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実①

取組事項

○従来の部活動とは異なる種目や活動を求める生徒のニーズに基づき、多種多様な種目を実施する。

活動の詳細

参加人数	298 人	指導者数	73 人
属性	生徒のニーズに基づいた多種多様な種目		
具体的な内容	会場校との協議の上、運営団体が設置可能な活動種目のうち、部活動にない種目かつ学校施設を活用した取組が可能な種目の選定も行い、以下の通り、実施した。 • 冨士中学校　：バドミントン、チアダンス、卓球、セパタクロー、カバディ • 左京山中学校：陸上、ラグビー、ブレイキン • 宮中学校　　：軟式野球、バスケットボール、バドミントン、卓球、カバディ • 上社中学校　：サッカー、バレーボール、バドミントン		
子供の声	● 基本的なやり方を教えてくれたのでやりやすかったです。 ● コーチの教え方がすごく私に合っていて勉強になります！ ● 色々な中学の人と交流ができてよかった。 ● 自分の知らないことを知れてよかったです。 ● 走るのが速くなった気がします。		
関係者の声	● 参加者の吸収スピードは目を見張るものがあり、この世代の育成は非常に重要であると再認識いたしました。また、指導のやりがいをも感じました。 ● 部活動に所属している生徒から競技未経験者まで多くの生徒が参加できることは非常に魅力的だと感じます。		
運営経費	＜活動費（主要）＞ ● 指導者謝金　：5,542千円（指導者が準備する備品代込み） ● 保険料　　：312千円		

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実②

取組の成果

○各学校へ希望調査を実施した結果を踏まえ、学校施設で実施ができ、かつ運営団体および指導者にて備品の準備が可能な種目を選定した。また、ダンスにおいては新しくオリンピック競技となった「ブレイキン」とプロスポーツチームとの連携が可能なチアダンスを選定し、実施した。なお、今年度は2026年アジア競技大会やユニバーサルスポーツの種目も実施した。

○参加者ニーズでは、バレーボールの人気が高く、抽選となった。特にこの教室は県内プロチームが指導に入ることもあり人気が高かったが、経験者だけでなく未経験者からの参加も一定いたことから、ニーズの高い種目であることがわかった。一方、アジア競技大会の一部やユニバーサルスポーツの種目では、参加者が少なく、参加者不足のため開催に至らない活動もあった。

○参加者からの評価(P.20参照)では、98％が「満足(77％)」「やや満足(21％)」であり、高評価の取組であった。

●選択から決定までの種目一覧

選択肢	バスケットボール	チアダンス（ダンス）	ハンドボール	シッティングバレーボール
	バレーボール	ヨガ	サッカー	ボッチャ
	バドミントン	体操	ラグビー	卓球バレー
	タグラグビー	剣道	陸上	ゴールボール
	ブレイキン（ダンス）	柔道	セパタクロー	
	HIP HOP（ダンス）	軟式野球	柔術	
	ジャズダンス（ダンス）	ソフトテニス	カバディ	

↓

会場校希望種目	バスケットボール	チアダンス（ダンス）	ハンドボール	シッティングバレーボール
	バレーボール	ヨガ	サッカー	ボッチャ
	バドミントン	体操	ラグビー	卓球バレー
	タグラグビー	剣道	陸上	ゴールボール
	ブレイキン（ダンス）	柔道	セパタクロー	
	HIP HOP（ダンス）	軟式野球	柔術	
	ジャズダンス（ダンス）	ソフトテニス	カバディ	

↓

選定種目	バスケットボール	チアダンス（ダンス）	ハンドボール	シッティングバレーボール
	バレーボール	ヨガ	サッカー	ボッチャ
	バドミントン	体操	ラグビー	卓球バレー
	タグラグビー	剣道	陸上	ゴールボール
	ブレイキン（ダンス）	柔道	セパタクロー	
	HIP HOP（ダンス）	軟式野球	柔術	
	ジャズダンス（ダンス）	ソフトテニス	カバディ	

今後の課題と対応方針

今回の取組の結果から、バレーボールやバスケットボールなど競技人口が多く、無料でプロスポーツチームの指導を受けることができる種目は人気が高いと推察される。一方で、実業団チームにより開催されたラグビーは、学校部活動にあまりないことや競技人口が少ないことから、多くの参加を見込むことができなかった。また、サッカーのように競技人口は多いものの、スクールやアカデミーなどがすでに多くある種目は、参加人数を見込むことができなかった。今回、プロスポーツチームによる体験でも参加費がかからないということが参加者数増加の要因と推察されることから、有料での実施となった際の検討も必要である。また、生徒のニーズに合わせた活動種目の選定や検討など、次年度へつなげていきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

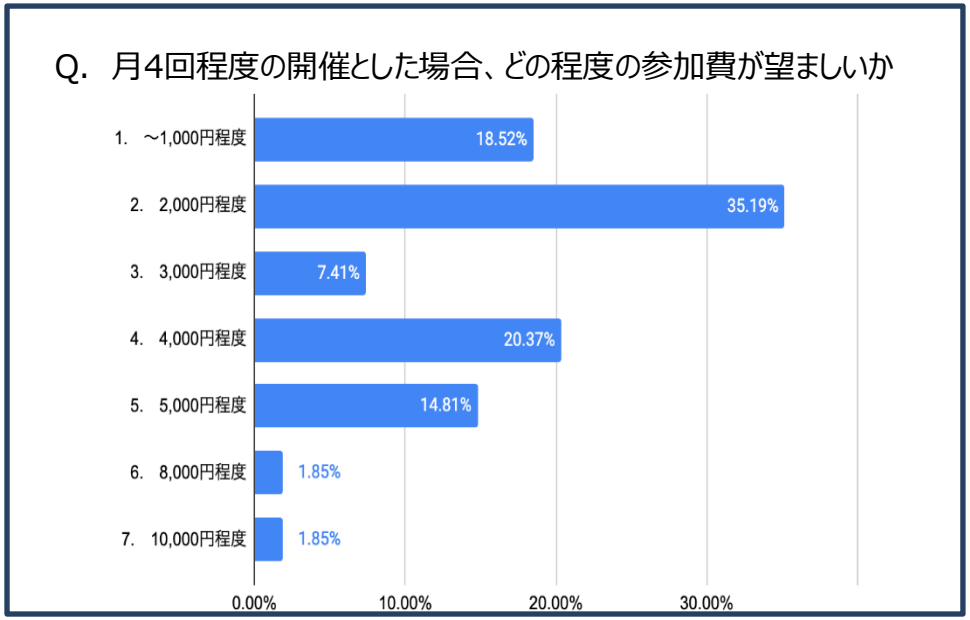
取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等②

取組の成果

○保護者向けにアンケート調査を実施した結果、「今回休日の地域クラブに参加させる際に、参加費を支払うことに対し理解できるか」という質問に対し、『理解できる』が92.6%、『理解できない』が7.4%であった。

また、『理解できる』という回答に対して、「月4回程度の開催とした場合、どの程度の参加費が望ましいか」という質問では、最も多い回答が『2,000円程度』の35.2%、ついで『4,000円程度』の20.4%であった。



今後の課題と対応方針

本市では、学校施設を民間団体等へ開放し、各地域クラブ団体が独自に運営を行っていく形を想定しており、参加費には各団体の考えが反映されることになる。

また、困窮家庭などの支援が必要な家庭に対しても、体験格差が生まれないよう、支援の仕組や支援額などの設計・検討を具体的に行っていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

○市立中学校4校の施設を会場に選定し、会場内の動線の確認、備品等の借用、施設利用のルール整備等を実施

○当日の鍵の開錠・施錠の管理

○会場利用における管理者の設置と運用

取組の成果

＜鍵の開錠・施錠の方法＞

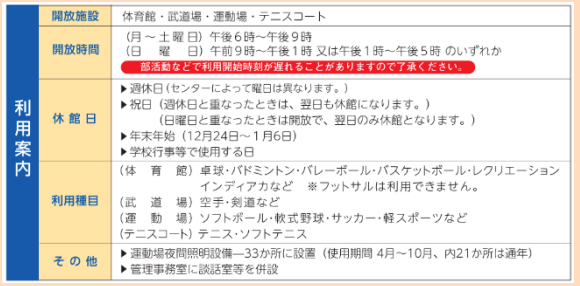
○地域クラブの利用に際し、各学校の会場出入りに必要な鍵を複製し活用した。複製時には学校と運営団体とで同意書・借用書を交わし、破損や紛失のないよう注意した。

なお、鍵の管理は本市の学校開放事業にて実施している流れを踏襲し、当日の管理者を設置し、管理者が全ての鍵を管理する手法とした。本市の学校開放事業では、各学校専用の部屋が設置されており、その部屋内で鍵の管理や備品の保管等を行っているが、本事業では本市の学校開放事業の部屋等は共有せずに実施した。

○事前に学校から借用し運営団体にて鍵の複製を行ったが、借用時、鍵が古かったり、曲がってしまっていたり、複製後に試した際に開かないなどの課題があった。長い年月、かつ多くの方が活用している施設であるため、鍵の複製等においても課題があることがわかった。

＊本市における学校施設開放事業（参考）＊

本市では、学校教育に支障のない範囲で市民にスポーツ及びレクリエーション活動をしていただくために、中学校体育施設を開放する「地域スポーツセンター」を実施。月曜日～土曜日の夜間と日曜日に開放しており、利用登録している個人・団体が活用している。各校に地域スポーツセンターの管理人室が設置され、管理者による施設の管理を行っている。



利用案内		
	開放施設	体育館・武道場・運動場・テニスコート
	開放時間	（月～土曜日）午後6時～午後9時 （日　曜　日）午前9時～午後1時 又は午後1時～午後5時 のいずれか 部活動などで利用開始時刻が遅れることがありますので了承ください。
	休館日	▶週休日（センターによって曜日は異なります。） ▶祝日（週休日と重なったときは、翌日も休館になります。） （日曜日と重なったときは開放で、翌日のみ休館となります。） ▶年末年始（12月24日～1月6日） ▶学校行事等で使用する日
	利用種目	（体　育　館）卓球・バドミントン・バレーボール・バスケットボール・レクリエーション インディアカなど　※フットサルは利用できません。 （武　道　場）空手・剣道など （運　動　場）ソフトボール・軟式野球・サッカー・軽スポーツなど （テニスコート）テニス・ソフトテニス
	その他	▶運動場夜間照明設備―33か所に設置（使用期間 4月～10月、内21か所は通年） ▶管理事務室に談話室等を併設

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組の成果

＜キーボックスの設置＞

○鍵の管理における効率化や管理者が持ち歩くことによる紛失等を防ぐため、会場校のうち1校に協力を要請し、簡易的なキーボックスを設置し、活用におけるメリットとデメリットの検証を行った。

（学校関係者・管理者向けヒアリングやアンケートを踏まえて）

＊メリット＊

✓ 管理者が鍵を持ち歩かずに済む（紛失の恐れがない）

✓ 管理者がやむを得ず来れなくなった際の別担当への受け渡しが容易

＊デメリット＊

✓ セキュリティを考慮し、学校施設内で設置する場所の選定が必要
（防犯カメラが映るところ／子ども達があまり活用しないところなど）

✓ 学校によっては設置できる場所が不安定で、キーボックスが外れてしまう危険性がある。

✓ キーボックスの耐久性



今後の課題と対応方針

○鍵の管理においては、鍵の紛失や破損、管理者変更時の受け渡しなどの課題があることがわかった。設置場所や耐久性などの課題点はあるものの、管理者が保有するよりも施設内での保管ができることが望ましいと考える。また、鍵の複製においても課題があることから、古い鍵や曲がった鍵でも正確に複製できる方法や、鍵を使わない手法等による施設管理の検討も必要である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組の成果

＜管理者の設置、管理者・指導者による施設・備品チェックの実施、当日の運営＞

○当日の施設管理のため、各会場にて管理者を1名以上設置した。管理者は、各会場にて全日程の配置が可能な人員や団体を選定した。

○各管理者及び指導者は、活用する施設や備品に破損がないか等のチェックを毎回実施し、備品利用等の徹底管理を行った。

○運営団体は、当日の活動において施設や備品の破損があった際には、当日修繕対応を行うことや教育委員会・学校への連絡を行う等のマニュアルを作成し、管理者・指導者への研修や周知徹底を行った。

＊当日の流れ＊（管理者）

✓ 活動開始30～40分前に会場へ到着
✓ 門、各利用会場（トイレ含む）の鍵の開錠、備品の事前チェックと
　※チェックシートへの記入
✓ 指導者の受け入れ
✓ 参加者の受け入れ及び欠席者の確認、保護者対応
✓ 活動時の巡回、保護者対応
✓ 指導者からのアンケート・日報・チェックシートの回収
✓ 門、各利用会場（トイレ含む）、備品の事後チェックと鍵の施錠
　※チェックシートへの記入
✓ 解散及び報告（アプリ）

＊当日の流れ＊（指導者）

✓ 活動開始15分前に会場へ到着
✓ 利用会場、備品の事前チェック　※チェックシートへの記入
✓ 参加者の受け入れ及び欠席者の確認、会場までの移動・案内
✓ 活動の実施（指導開始）～活動終了（日報記入）
✓ 利用会場、備品の事前チェック　※チェックシートへの記入
✓ 活動終了後、門まで参加者を案内・解散
✓ 活動報告（アプリ）

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等



スポーツ＆文化芸術体験　備品借用・返却チェックリスト【 宮中学校 】指導者用

活動日	／　（　）	実施主体	タクミ卓球スクール
実施種目 会場	卓球／校技場	指導代表者名	

＊施設活用のルール＊
●学校等の備品を借用する場合には、事前に許可を得ている備品のみの借用をお願いします。
●借用時に必ず備品に破損箇所がないか安全管理も含めて確認をお願いします。
●活用前に破損している備品があった場合には、活用せずに、管理人または運営会社担当へご連絡ください。
●借用された備品の並びは必ず元の位置に戻すようにお願いします。（原状回復のご協力をお願いします）
●参加者に対して、指導者から備品は有償に使用いただくよう指導をお願いします。
●活動の最後に、会場内にあるごみ等発見をお願いします。
●開始前と終了時には下記のチェックリストを確認及びチェックをいただき終了後に管理者へ提出をお願いします。

チェックリスト（開始前）

借用備品	借用・確認時間	破損等のチェック	備品等の破損があった場合、状況を具体的に記載してください
卓球台	：	□ 破損していないか	
清掃用具	：	□ 破損していないか	

チェックリスト（終了時）

借用備品	返却・確認時間	片付け・破損等のチェック	備品等の破損があった場合、状況を具体的に記載してください
卓球台	：	□ 破損していないか □ 元の位置に戻しているか	
清掃用具	：	□ 破損していないか □ 元の位置に戻しているか	

管理者署名　：

運営会社：スポーツデータバンク株式会社
＊備品等の破損などトラブルが発生した場合には、管理者より右記へ連絡をお願いします【緊急連絡先：080-4113-1686（筑井）／080-1129-4583（笹川）】

指導者用チェックシート



スポーツ＆文化芸術体験　備品借用・返却チェックリスト【 宮中学校 】管理者用（開始前）

活動日	／　（　）	活用施設	体育館　・　運動場　・　格技場　・　調整荒室
実施種目		管理者名	

＊施設活用のルール＊
●管理者は、鍵の開錠・施錠、各会場の備品確認、清掃チェック等をお願いします。
●指導団体が活用する前に、各会場の鍵の開錠をお願いします。
●会場の清掃は指導者が行いますが、施設が適切に使われているかを含めた確認をお願いします。
●借用された備品が破損してしまった際には、速やかに運営会社担当へ連絡をお願いします。
●開始前には下記のチェックリストを確認及びチェックをいただき終了後チェック表と合わせて写真にて運営会社へ当日提出をお願いします。

チェックリスト（開始前：門）

鍵の開錠・借用備品	開錠・確認時間	準備・破損等のチェック	備品等の破損があった場合、状況を具体的に記載してください
正門	：	□ 破損していないか	
	：	□ 鍵は施錠されていたか	
キーボックス	：	□ 破損していないか	
	：	□ 鍵は紛失していないか	

チェックリスト（開始前：体育館）

鍵の開錠・借用備品	開錠・確認時間	準備・破損等のチェック	備品等の破損があった場合、状況を具体的に記載してください
体育館入口	：	□ ドアは破損していないか	
		□ 鍵は施錠されていたか	
フロア	：	□ 忘れ物やゴミはないか	
		□ 照明や空調は消されていたか	
バスケットゴール	：	□ ゴールネットは切れていないか	
		□ リング等破損していないか	
空調制御盤	：	□ 鍵は施錠されていたか	
		□ 異常はないか	
器具庫	：	□ 鍵は施錠されていたか	
		□ バドミントンの支柱は破損していないか	
		□ バドミントンの支柱の本数はセットあるか	
		□ タイマー付得点板はあるか	
		□ モップ等の清掃用具に異常はないか	
体育館1Fトイレ	：	□ 1Fトイレに向かう鍵は施錠されていたか	
		□ 女子トイレに忘し忘れはないか	
		□ 女子トイレのトイレットペーパーは足りているか	
		□ 男子トイレに忘し忘れはないか	
		□ 男子トイレのトイレットペーパーは足りているか	

※裏面のチェックもお願いします
運営会社：スポーツデータバンク株式会社
＊備品等の破損などトラブルが発生した場合には、管理者より右記へ連絡をお願いします【緊急連絡先：080-4113-1686（筑井）／080-1129-4583（笹川）】

管理者用チェックシート①



スポーツ＆文化芸術体験　備品借用・返却チェックリスト【 宮中学校 】管理者用（終了後）

活動日	／　（　）	活用施設	体育館　・　運動場　・　格技場　・　調整荒室
実施種目		管理者名	

＊施設活用のルール＊
●管理者は、鍵の開錠・施錠、各会場の備品確認、清掃チェック等をお願いします。
●参加者及び指導団体が退室した後に、器具チェックと鍵の施錠をお願いします。
●トイレの清掃・チェックは管理者にてお願いします。
●借用された備品が破損してしまった際には、速やかに運営会社担当へ連絡をお願いします。
●終了時には下記のチェックリストも確認及びチェックをいただき後日終了報告書に添付にて提出をお願いします。

チェックリスト（開始前：体育館）

鍵の開錠・借用備品	開錠・確認時間	準備・破損等のチェック	備品等の破損があった場合、状況を具体的に記載してください
バスケットゴール	：	□ ゴールネットは切れていないか	
		□ リング等破損していないか	
空調制御盤	：	□ 異常はないか	
		□ 空調の電源は落としたか	
		□ 制御盤の鍵は施錠したか	
器具庫	：	□ 借用された備品に破損はないか	
		□ 借用された備品は元の位置に戻されていたか	
		□ ドアの鍵は施錠したか	
体育館1Fトイレ	：	□ 女子トイレに忘し忘れはないか	
		□ 女子トイレのトイレットペーパーの補充	
		□ 洗面台の清掃	
		□ ゴミの回収	
		□ 女子トイレに忘し忘れはないか	
		□ 男子トイレのトイレットペーパーの補充	
		□ 洗面台の清掃・チェック	
		□ ゴミの回収	
		□ 1Fトイレに向かう鍵は施錠したか	
フロア	：	□ 忘れ物やゴミはないか	
		□ 窓やドアの閉め忘れはないか	
		□ 照明は消したか	
体育館入口	：	□ ドアは破損していないか	
		□ 鍵は施錠したか	

※裏面のチェックもお願いします
運営会社：スポーツデータバンク株式会社
＊備品等の破損などトラブルが発生した場合には、管理者より右記へ連絡をお願いします【緊急連絡先：080-4113-1686（筑井）／080-1129-4583（笹川）】

管理者用チェックシート②

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

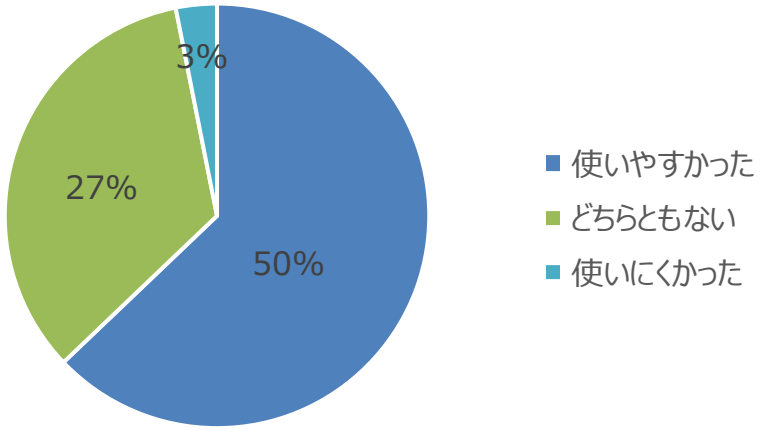
●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組の成果

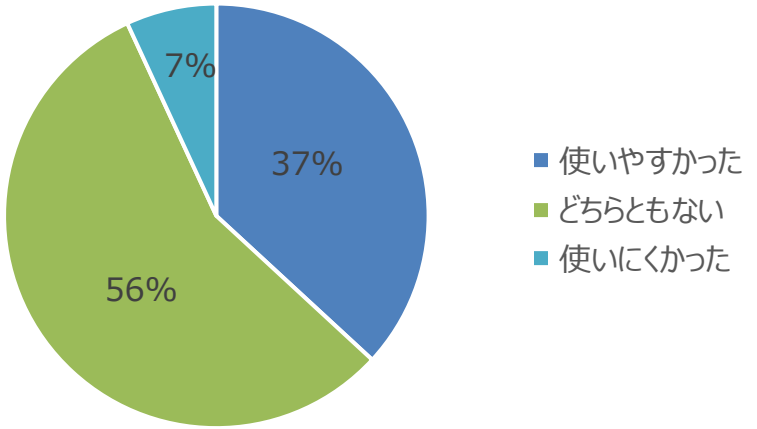
＜施設利用におけるアンケート調査結果＞

○活動当日に参加者へ地域クラブ活動への評価及び施設利用における評価のアンケート調査を、2月に保護者・指導者へ評価や施設利用、意向等についてのアンケート調査を実施した。

施設は使いやすかったか（参加者）



施設は使いやすかったか（保護者）



○『使いやすかった』と答えた参加生徒は50%であり、保護者は37%であった。

〇生徒から施設利用に対し、『エアコンがほしい』との意見が多かった。また、『コートを広くしてほしい』等の意見もあった。

〇保護者から施設利用に対し、『駐車場の利用許可』や『会場校までの距離が遠い』との意見が多かった。

※実証時、障がい者の参加や怪我等の搬入以外での車の乗り入れは禁止した。

2.実証内容と成果

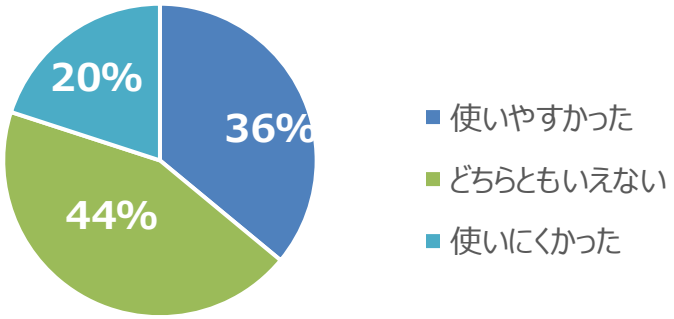
取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

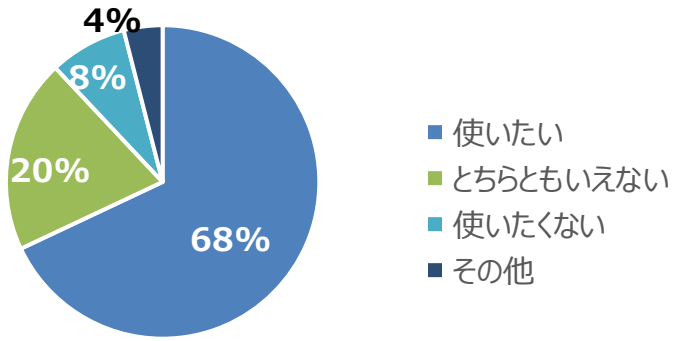
取組の成果

＜施設利用の評価＞

施設は使いやすかったか（指導者）



今後使いたいか（指導者）



○指導者のアンケート調査の結果では、『使いやすかった』が36%であり、『使いにくい』が20%であった。

具体的には、『セキュリティ上、施設利用場所までの距離やトイレまでの距離の問題』、『ユニバーサルスポーツにおけるバリアフリー環境の課題』、『施設整備（整地・広さ・Wifi環境等）』についての意見が見受けられた。

○今後、自身の活動に使いたいかという質問では『使いたい』が68%であり、多くの指導者・団体が活動場所の貸出を求めていることがわかった。

今後の課題と対応方針

○学校施設の活用や備品借用においては、活動中の破損・修繕などもなく実施することができた。これは指導者や管理者がチェックを行うことによる危機管理の意識を促すことができた結果の一つであるといえる。

○施設の活用においては、『どちらともいえない』との回答が多かったが、それに次いで『使いやすい』との回答も多かった。学校施設という限られた環境下であるため制限が多くあるものの、運用のルールや整備、対策などを講じることができれば、学校施設を活用した地域クラブ活動の実施は推進できると考える。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

今年度は、令和7年度以降の実施に向け、市立中学校4校を会場とし、学校施設を活用した地域クラブ活動を行った。9月より申込開始を行い、全体延べ2,037名の参加申込（文化含む）をいただいた。一部の種目では、定員に対し参加申込数を超え、抽選となる種目もあった。 また、1回からの参加をOKとしていたことから、活動終了後に再度申込をいただく種目もあった。一方で、部活動にはない種目（カバディ、セパタクロー、卓球バレー等）では、参加人数が少ない傾向だった。

学校体育施設の活用については、各会場校において事業開始前に施設の空き枠を調整することで、その後の日程調整をスムーズに行うことができた。コーディネーターが事前に借用する備品の確認や動線の確認を行い、管理者が当日の鍵の開錠・施錠、備品管理を行った。さらに、当日参加生徒や保護者が勝手に校内に入らないよう、指導者が門から会場まで引率するなどの対応を行うことで、大きな問題もなく活動を終了することができた。

今後、管理体制の効率化等も含めた検討を行い、次年度につなげていきたい。

●成果の評価

- 参加人数：延べ2,037名（文化含む）
- 参加枠に対する参加率：62.3%（各クラブ定員20～30名）
- アンケート調査の結果：
  - ・生徒満足度 『満足』77%、『まあまあ満足』 21%　 全体98%が高評価
  - ・保護者満足度 『満足』54%、「まあまあ満足」37%　 全体91%高評価
  - ・施設の使いやすさ（生徒）『使いやすい』50%　（保護者）37%

地域クラブ活動に対する評価はおおむね高かった。
体育施設の利用においては、参加生徒からは活動する施設の環境についての意見があり、保護者からは活動場所までの移動や送迎面等に対する意見があった。

●今後に向けて

本市では、令和7年10月より土・日曜日の部活動（大会参加等を除く）は実施せず、地域の団体・事業者等による地域クラブ活動を実施する。地域クラブ活動団体への中学校施設の開放、団体・指導者への研修、モニタリング、地域クラブ活動に係る一切を一元管理する専用ウェブサイトの構築等、本市における子どものスポーツ・文化芸術活動の環境整備を進める。

今年度の取組から、一定の参加者を得ることができた。中学生のニーズに沿った活動や、自宅から近い会場での実施ができると、より多くの参加を見込むことができると考える。学校施設開放の運営手法等について検討を重ね、今後の活動に活かしていきたい。

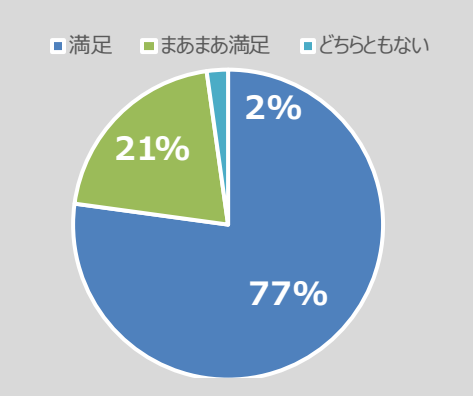
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

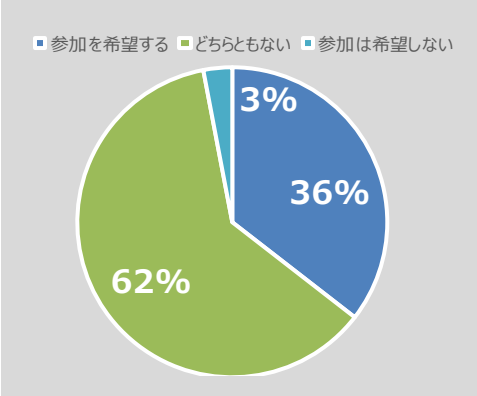
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

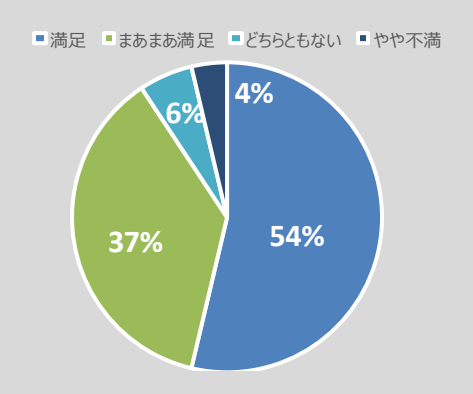
Q.今回参加したプログラムの満足度を教えてください（参加者）



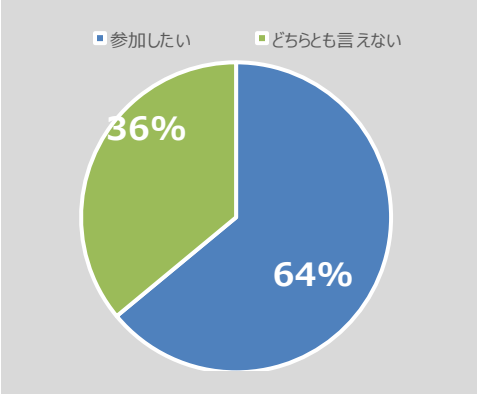
Q .休日の地域クラブで今回参加したプログラムが開催される場合、参加を希望しますか(参加者）



Q今回参加したプログラムの満足度を教えてください（保護者）



Q.来年度以降も地域クラブが継続して実施される場合、指導者として参画したいですか。



●参加者の声

参加者（中学1～3年生）

- 上達できました。教え方もわかりやすかったです。ありがとうございました。
- 楽しかったです！
- あまり行うことのないスポーツなどが多く、テニスなどの活動もあったら良かったなと思った。
- もっとやる回数がほしい。
- 友達といっしょに行けると楽しそう。
- 日数がかぎられるとできることが少なくなってしまうので、習い事として長期間参加したい。
- 自分の知らないことを知れてよかったです。　等

保護者

- 今回のモデル事業で気になっていたスポーツを一歩踏み込んで経験でき、場所も通う中学であったことから、保護者も安心して預けられました。
- 会場が東西南北でやっていただけると、行きやすい

指導者

- 参加者の吸収スピードは目を見張るものがあり、この世代の育成は非常に重要であると再認識いたしました。このような活動は是非と考えてます。

2.実証内容と成果③

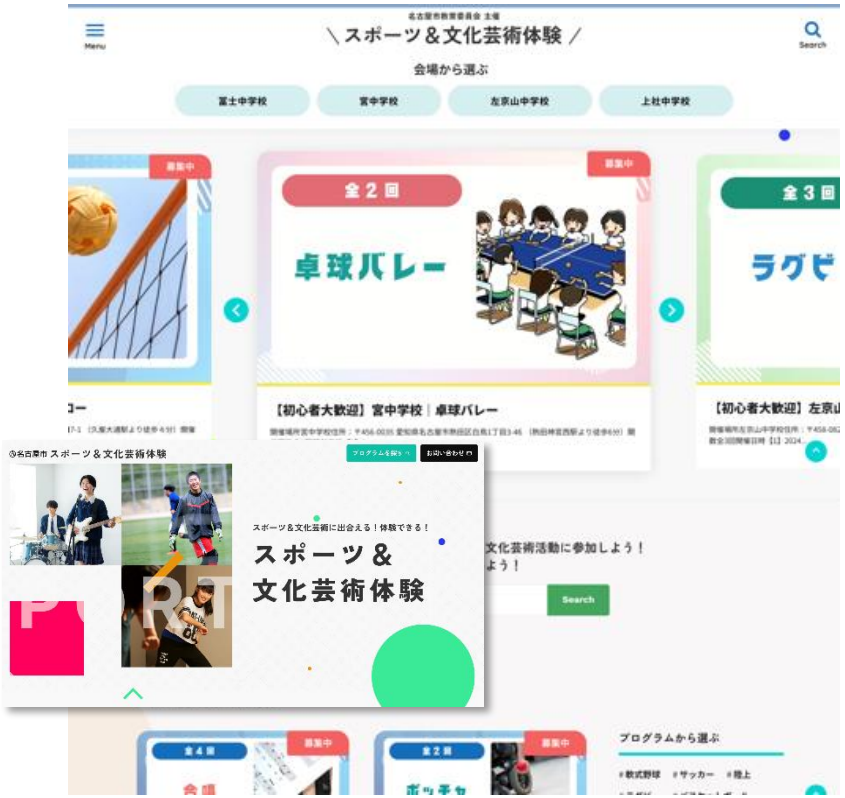
スポーツ庁

広報資料

参加者への広報は、専用ウェブサイトの制作と生徒への参加啓発チラシを作成し、全市内中学校への配布・案内を実施した。参加啓発チラシでは、実施内容（会場や種目など）がわかりやすいような内容とした。専用ウェブサイトでは、オープンサイトとして制作を行い、申込の流れや各プログラムの詳細、キーワード検索等ができるように設定をすることで、自分が興味のある活動に気軽に参加できる仕組とした。



【生徒への参加啓発チラシ】



【特設Webサイト】

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【バレーボール体験】



【バスケットボール体験】



【ブレイキン体験】



【軟式野球体験と取材の様子】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和５年度

有識者会議
方針決定

▶

実施校の選定
運営団体の選定

▶

令和６年度

学校との調整
実施種目の決定

▶

参加受付開始
保護者説明会
開催

▶

地域クラブ活動
のモデル実施

▶

令和7年度

地域クラブ活動
の本格実施

●ステークホルダー

教育委員会、学校、
運営団体、市内スポーツ関連事業者

●経過、実施内容

令和5年度に本市の中学校部活動のあり方の見直し方針を決定。

令和6年10月～令和7年2月の土・日曜日に、市立中学校4校を会場とし、市内中学校在籍生徒全員を対象に、全16クラブ（スポーツ）を開催。市内中学校に在籍していれば、自校開催活動だけでなく、全活動に参加できるようにした。

令和7年度からの本格実施へ向けた課題を整理し、制度設計へつなげた。

●実施にあたって生じた課題

・施設利用における鍵の管理（管理者の配置）
・種目ごとに参加率が大きく異なる（ニーズとの乖離）
・送迎等における車の乗り入れ　等

●実施内容、工夫した点 等

子どもたちの多様なニーズに応えるため、部活動にある種目だけでなく、ブレイキン・セパタクロー・カバディ等の通常部活動にはない活動も実施した。

施設利用に向けて細かな事前準備や協議を行い、マニュアルの作成、指導者等への周知、教育委員会と運営団体で連絡が取りやすいよう無料アプリケーション等の活用による緊急対応体制を整えた。

●今後の展開

令和7年10月より土・日曜日の部活動（大会参加等を除く）は実施せず、地域の団体・事業者等による地域クラブ活動を実施する。

地域クラブ活動団体への中学校施設の開放、団体・指導者への研修、モニタリング、地域クラブ活動に係る一切を一元管理する専用ウェブサイトの構築等、本市における子どものスポーツ・文化芸術活動の環境整備を進める。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)	2026年度 (R8年度)	目指す姿
市	名古屋市立中学校における部活動のあり方懇談会の設置及び会議の実施（年５回） アンケート調査 （生徒・保護者・地域の指導者） ヒアリング実施 （団体、事業者等） 各区1回、計16回の モデル事業実施	団体・企業等への参入 意向調査 市内4校でモデル事業実施 各種制度設計 ・人材バンクの活用の検討 （県） ・団体登録制度 ・施設利用の設計 ・困窮世帯への減免の設計 ・専用ウェブサイトの設計 ・兼職兼業制度の設計	専用ウェブサイトの構築 専用ウェブサイトの運営（7月開設予定） 各種制度設計 新たな学校開放制度に基づく学校施設開放開始 課題の抽出・対応 休日の地域移行完了		○地域の多様なスポーツ・文化芸術活動を市内在住の中学生へ提供する。 ○地域の様々な団体の自己運営によるクラブ活動を実施し、地域の子どもを地域で育てる。 ○教員の働き方改革を推進する。
学校	部活動（平日・休日）		部活動（平日・休日は大会参加のみ） 学校開放に向けた 環境整備 教職員の兼職兼業の申請		
参加者			参加申込（9月開始予定） 市立中学生の減免申請		
地域 クラブ 団体			団体登録（4月開始予定）　※会費徴収により、自己運営 研修受講 施設予約（8月開始予定）		